

反転が生み出す論文執筆のブレークスルー
ーディスカッションベースの論文投稿ファシリテーションー
(チュートリアル)

オーガナイザ：小西 達裕（静岡大学），光原 弘幸（徳島大学）
JSiSE 学会誌編集委員会

JSiSE 学会誌編集委員会ではこれまで、全国大会プレカンファレンス企画として、チュートリアル“編集担当委員が語る JSiSE 論文投稿入門”を実施してきました。本会誌へ論文投稿をしたことが無い方、研究をまとめたいたのだが論文として求められるレベルがよくわからないという方、実践研究を進めるうえでのポイントやヒントが得たい方のほか、査読を行う際の考え方を整理したい方を主な対象として、以下のようなテーマを中心とした編集委員による解説と質疑応答を通じて、論文投稿を呼びかけてきました。

- 論文投稿から掲載までの流れ、投稿に際しての注意
- 論文種別と採録基準 —現状と改訂の方向性—
- 査読の観点と査読コメントに対する対応のノウハウ
- 教育現場の取り組みを実践系論文にまとめるには

チュートリアルコンテンツ（解説資料やビデオ）は本会ホームページ

(<http://www.jsise.org/journal/tutorial.html>)でも提供されており、多くの方に学会誌編集委員会の立場などをご理解いただけたと考えております。

今年度の学会誌編集委員会チュートリアルは少し趣を変え、これまでのチュートリアルコンテンツを有効活用し“反転”を取り入れたディスカッションベースの論文投稿入門を実施します。

本会誌への論文投稿を検討しており、論文執筆について編集委員（Adviser）から直接アドバイスをもらいたい方（Advisee）には、

- 事前に参加希望を提出していただきます（希望多数の場合は学会誌編集委員会で選定させていただきます。また、事前に発表スライドなどの資料をご提出いただく場合もございます）
- 事前にチュートリアルコンテンツを閲覧していただいた上で
- 当日、投稿検討中の研究内容や論文執筆での悩みをプレゼンしていただき
- 学会誌編集委員と個別に議論して、論文執筆（研究内容を論文にまとめる上）での悩みの解決につなげていただきます。

Advisee ではなくてもチュートリアルに参加できます。プレゼンや個別の議論を聴講していただくことも、ご自身の論文執筆に役立つと考えますので、学生や若手研究者、初めて JSiSE 学会誌に論文を投稿しようと考えている研究者・実践者など多くの方にご参加いただければ幸いです。

登壇者（アドバイザー）：

小西達裕（静岡大学），瀬田和久（大阪府立大学），笠井俊信（岡山大学），國宗永佳（信州大学），光原弘幸（徳島大学）以上，学会誌編集委員会幹事団から他，学会誌編集委員